

新・シーボルト研究 全二巻

収載論文（予定）

※各巻の内容に多少の移動・変更が生じることがございます。ご了承下さい。

●第一巻 自然科学・医学篇

- 沓沢宣賢 シーボルトと日本医学 ―『矢以勃杜験方録』をめぐって―
- 山口隆男 シーボルトと日本の自然史研究
- 大場秀章 シーボルトと彼の日本植物研究 〈付〉『フロラ・ヤポニカ』と協力者たち
- 加藤億重 切り取られた標本 ―オランダ国立植物標本館特別室に収められている『平井海蔵標本帖』、『Herbarium Jedoensis Medicis』から―
- 池内一三 出島の植物園と鳴滝の薬園
- 大沢真澄 シーボルト収集の日本産鉱物・岩石および薬物類標本ならびに考古資料
- 小幡和男 宇田川榕菴がシーボルトに贈ったアキタブキの拓本
- 飯島一彦 『華臈』に貼付された書き付け ―シーボルトと大河内存真―
- 和田浩志 シーボルトが日本で集めた種子・果実について
- 久松正樹 シーボルトが収集した昆虫標本
- 小林淳一 シーボルトが収集した日本記事 ―ペリー日本遠征隊とシーボルト―
- 向井 晃 シーボルト「日本研究」の情報源 ―収集図書類、門人提出論文について―
- (資料篇)
- 石山禎一訳 ドイツとオランダに散在するシーボルトの自筆書簡 ―特に日本動植物関係について―
- 石山禎一訳 長崎近郊千々山への調査旅行〈シーボルト自筆草稿〉
―フォン・ブランデンシュタイン家所蔵シーボルト関係文書より―
- 沓沢宣賢 シーボルトの医学関係史・資料について
- 向井 晃 シーボルト収集和書 (付) シーボルト門人蘭語論文目録
- 石山禎一編 シーボルト生涯・業績および関係年表
- 石山禎一編 シーボルト研究関係文献目録 (二〇〇三年前半まで)

●第二巻 社会・文化・芸術篇

- 宮崎道生 シーボルトの日本文化観・国民性論
- 永積洋子 ドイツ人シーボルトとオランダの学界
- 梶 輝行 シーボルト事件 ―商館長メイランの日記を中心に―
- 片桐一男 オランダ商館長とシーボルトの江戸参府
- 永松 実 漆工師青貝屋武右衛門の注文帖
- 近藤雅樹 ミニチュア民族誌の構想 ―シーボルトがくれたアイデア―
- 岸本恵実 シーボルトの日本語研究
- 石田千尋 シーボルト来日前後の日蘭貿易
- 保田孝一 文久元年の対露外交とシーボルト
- 宮坂正英、石川光庸、ベルント・ノイマン シーボルトの「和歌研究」 ―ブランデンシュタイン家文書に見られる資料―
―ブランデンシュタインツェッペリン家資料にみる―
- 福井英俊 『日本』出版の過程と其扇・いね宛シーボルト書簡
- 徳永 宏 鳴滝塾の活動と跡地の変遷について
- 宮坂純子、宮坂正英 シーボルト著「日本の旋律」と自筆楽譜について
- 沓沢宣賢 シーボルト研究史概観 ―最近の研究動向を中心に―
- (資料篇)
- 栗原福也 出島からバタヴィアへ ―フォン・シーボルトの日本調査報告 一八二三、二四年―
- 沓沢宣賢 一八六一年東禅寺事件に関する一資料
- 桂ゆりえ訳 『東西インド諸島報知』
―アジアとアメリカのオランダ領に関する科学的産業的記録と回想―
- 石山禎一編 シーボルト自筆草稿類一覽 ―フォン・ブランデンシュタイン家所蔵―
- 関口忠志 Ph. F. von Siebold の系譜図



1824年(28歳)頃 筆者不明(日本人)
(ブランデンシュタイン=ツェッペリン家蔵)



1848年(52歳)頃 ヘンリー・Ph・ハイデ
マンスによる肖像画の模写
(ヘレーネ・クラウス筆、1897年
ブランデンシュタイン=ツェッペリン家蔵)



1866年(70歳)頃 シーボルト最晩年の写真
(シーボルト記念館蔵)

表紙の肖像は
1826年(30歳)頃 川原慶賀筆
(長崎県立図書館蔵)